



令和7年度 福井県庁インターンシップ実施計画書
(プロジェクト参画型インターンシップ)



- 1 実習期間
令和7年8月18日（月）から9月4日（木）のうち所属が指定する12日間（週4日×3週間）
- 2 受入予定実習生数
16名程度（行政10名程度、土木（総合）6名）
- 3 申込手続
電子申請にて学生ご自身で申込手続きをしてください。
- 4 受入職種・受入先・実習内容一覧

職 種	実習所属			受入予定数	テーマ	備考
(1) 行政	①	総務部	人事課	1～2名	働き方改革案および採用強化策の検討	全国的に公務員志望者が減少する中、県庁を志望する若者等の増加に向けて、人財発掘ディレクターを設置しています。チームの一員として活動に随行いただくほか、魅力ある職場環境の整備にむけた対策案を検討いただきます。
	②	未来創造部	東京事務所	2名	新幹線開業効果を持続させるための首都圏での誘客促進策の検討	北陸新幹線福井・敦賀開業1年の状況では、首都圏からの観光客数は増加しましたが、今後も開業効果が継続するかは不透明な状況です。開業効果を持続させ、観光客数・宿泊者数右肩上がりにするために首都圏でどのようなPRをしていくべきかを検討していただきます。
	③	防災安全部	県民安全課	2名	若者に対する効果的な消費者トラブル未然防止および消費生活センターの認知度向上のための事業案の検討	悪質商法や特殊詐欺、インターネット関連の消費者トラブルは後を立たず、今後増加も懸念されます。県では相談窓口を設置しており、利用促進に向けた取り組み案と、若者のトラブル未然防止策を検討いただきます。
	④	交流文化部	誘客推進課	1～2名	誘客を推進するための発信手法の検討や企画の立案	8月開催イベントの総括や2回目開催に向けた課題やPR方法を検討いただきます。また、恐竜王国福井の発信手法の検討や若年層の視点から本県への旅行の動機付けにつながる施策の立案などを行っています。
	⑤	健康福祉部	長寿福祉課	1名	超高齢社会の中で共に支えあう地域づくりのための施策検討	高齢になっても、介護が必要になっても働ける仕組みづくりに取り組んでいます。認知症の方が社会参加できる場の創出について、提案していただきます。また、深刻な介護人材不足の要因の分析や、介護職の魅力向上策や働きやすい環境づくり等人材確保策について検討していただきます。加えて、高齢者の居場所づくりなどの施策も企画していただきます。
	⑥	産業労働部	労働政策課	1名	人手不足対策に関するデータ分析、事業案の検討	本県の有効求人倍率は7年超連続して全国1位と高い水準にあり、企業の人手不足は深刻です。将来の福井県を支える学生の視点で、企業で活躍する人材を確保するための新しい施策を検討いただきます。
	⑦	教育庁	教育政策課	1名	クリエイティブ教育に係る施策の企画	社会課題解決や地域活性化に必要となる、柔軟でクリエイティブな発想力やデザイン思考を育む学びを新たに企画、実行する必要があります。デザイン思考を教育に取り入れている事例を調査した上で、若者の視点から、高校生等のニーズに合った講座の実施に向けたアイディア出しをしていただきます。
(2) 土木 (総合)	①	農林水産部 (農業土木) 土木部	県内農林総合事務所 県内土木事務所	6名	福井県行政における農業土木技術職員募集の企画立案	食料安全保障を支え、防災・減災対策に主体的に貢献している農業土木技術職員が、どのような業務を行っているか経験していただきます。インターン生の目線で、農業土木職にやりがいを持つ人材の採用につなげる職員募集方法の企画立案を行っていただきます。
					福井県における公共工事の業務遂行について	入庁後に必須の経験となる土木事務所での業務体験を通じて、県の公共事業の業務の進め方を紹介します。プロジェクト（工事発注・施行管理）が進行する中で発生する課題について、共に解決策を検討いただきます。

【注 意 事 項】

- ・申込多数の場合は、来年度の就職活動が見込まれる学生（大学3年生等）を優先します。
- ・申込多数によりインターンに参加できなかった学生や、受入希望先での実施が困難な学生については、別途県庁ナビゲーター制度による面談制度を紹介します。【「福井県 ナビゲーター制度」で検索】
- ・インターン受入決定後のキャンセルは、受入先部署だけではなく、見学等をお願いしている関係機関にも迷惑がかかり、翌年度以降も応募者が受け入れてもらえない可能性もございます。正当な理由なく辞退することは控えていただくようお願いいたします。